

滋賀県庁舎等の現状・課題等について



目 次

滋賀県庁舎等の現状・課題等について

- (1) 県民サービス・行政運営等の観点からの現状・課題等(平常時)……………P3
- (2) 危機管理機能に係る現状・課題等(非常時)……………P8
- (3) 他自治体の様々な整備手法の事例……………P9

※県庁舎等の現状・課題についてはさらに調査を進め、第3回議題の「県庁舎等に必要な機能」の際に、改めて調査結果や分析状況をお示しします。

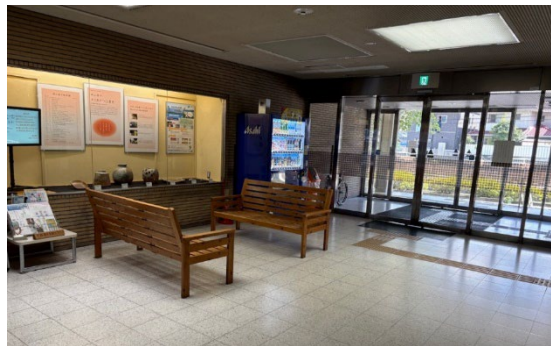
(1)県民サービス・行政運営等の観点からの現状・課題等(平常時)

着眼点	項目	主な現状・課題
1)県民・来庁者の観点	①共用空間	ロビー、情報発信スペース等が小規模・分散化していて、場所がわかりにくく開放性に乏しい。
	②動線	- 増築を重ねているため複雑で、目的場所がわかりにくい。 - 廊下は長大で、閉鎖的な印象。
	③駐車場	新館南駐車場(82台)、西駐車場(40台)、大津合同庁舎駐車場(115台)の3ヶ所に分散しており、空車・満車情報の提供がないため、利用しにくい。
	④土地利用	JR大津駅に近い滋賀県の玄関口にある立地に相応しい土地利用上の魅力を十分に発揮できていない。
	⑤本館	- 大津駅周辺のランドマークとして長く存在してきた。 - 登録有形文化財としての魅力を活かしきれていない。
2)行政運営上の観点	①執務空間	- 多くの棟に分散し、部署ごとに執務室が細分化されている。 - 執務室の奥行きが浅いためレイアウトの自由度が低い。 - 執務空間内での、簡易な打合せスペース等の確保が十分ではない。 - 膨大な紙資料を執務空間内で保管している。
	②情報化対応	OAフロアとなっておらず、配線等の更新性が良くない。
	③セキュリティ	執務動線と来庁者動線が交わる場所では、情報管理上の課題がある。
	④会議室	庁内会議または来庁者との打ち合わせを実施する会議室数の確保が十分でない。
3)ユニバーサルデザイン	①案内・誘導	サイン、誘導ブロック等が、来庁者が庁舎に着いてから目的場所に到着するまでの行動の流れに沿って計画されていない。
	②便所等	多目的便所等の使い勝手が良くない。

(1)県民サービス・行政運営等の観点からの現状・課題等(平常時)

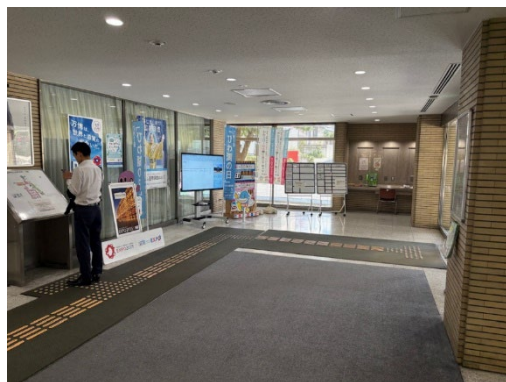
1)県民・来庁者の観点

①共用空間



・各庁舎の出入口に小規模なロビー空間やサロン、情報発信スペースが分散配置されており、開放性に乏しい。

②動線



・増築を重ね、棟配置が複雑であるため目的の場所がわかりにくい。

・新館・東館は中廊下型の諸室配置であり、廊下が長大で閉鎖的な印象。

③駐車場



・新館南駐車場、西駐車場、大津合同庁舎駐車場の3ヶ所に分散。空車・満車情報の提供がない。

(1)県民サービス・行政運営等の観点からの現状・課題等(平常時)

1)県民・来庁者の観点

④土地利用等



- 土地が高度利用されていないので、本館正面以外に魅力的な空間が無い。
- 大津駅から来た時に本館の良さを感じにくい。

⑤本館



- 本館見学ツアーが企画されたり、映画やドラマのロケ地として活用されたりしているが、登録有形文化財としての価値や魅力が十分に活かしきれていない。

(1)県民サービス・行政運営等の観点からの現状・課題等(平常時)

2)行政運営上の観点

①執務空間 ②情報化対応



- ・各執務室は壁で仕切られ、部署が細分化されている。
- ・執務空間内での打合せスペースが十分でない。
- ・座席は役職により島状に固定(レイアウト自由度が低い)
- ・膨大な紙資料を執務空間内で保管している。
- ・OAフロアでないため机等のレイアウト変更に柔軟に対応できない。

③セキュリティ



- ・一般来庁者が容易に執務ゾーンに立ち入ることができ、情報セキュリティに配慮が必要である。

④会議室



- ・会議室の数が不足している。
- ・様々な規模・内容に応じた会議室がそろっていない。

(1)県民サービス・行政運営等の観点からの現状・課題等(平常時)

3)ユニバーサルデザイン

①案内・誘導



- ・来庁者の主要なエントランスが複数棟に分散しているため、
- ・総合案内機能の位置が分かりにくい。
- ・サインや点字案内、触知案内等の案内・誘導が十分ではない。

②便所



- ・多目的便所は整備されているが、衛生器具、スイッチ類、手摺、ペーパーホルダー等のレイアウト・仕様等の点で利用者の使い勝手が考慮されていない。

(2)危機管理機能に係る現状・課題等(非常時)

着眼点	項目	主な現状・課題
1)災害時の運用	①危機管理センター	近年の被災事例・教訓を踏まえ、大規模災害時の受援体制等を考えた規模や運用の見直しが必要である。
	②駐車場	緊急車両(大型を含む)用駐車スペースが本館正面と危機管理センター裏にあるが台数が少ない。
2)庁舎の機能維持	①危機管理センター	単独で設備のバックアップシステムを十分に備えており、機能継続に大きな問題はない。
	②本館・その他の庁舎	- 新館をエネルギーセンターとして、電源、空調の熱源について大地震等に対しても信頼性の高い方式を採用している。ただし、機器等の据付方法等が大地震時に対応できていない。 - 給水・排水については非常時に使える設備が整っていない。
3)耐震性	①危機管理センター	- 免震構造を採用し、非常に高い耐震性能を有する。 - 液状化対策を実施済み。
	②本館	- 耐震補強済みであるが、大地震時には構造体の部分的損傷が生じる可能性がある。 - 液状化対策は実施されていないので基礎が損傷する可能性がある。
	③その他の庁舎	- 新新館と東館は新耐震、新館は耐震補強済みであるが、何れも大地震時には構造体の部分的損傷が生じる可能性がある。 - 北新館は耐震補強済みで、大きな補修をすることなく継続使用が可能。 - 液状化対策は何れも実施されていないので基礎が損傷する可能性がある。

※今後の基礎調査の中で費用対効果などを考慮し、リスクを軽減するための目標設定・対応策を検討する。

(3)他自治体の様々な整備手法の事例

(1)長崎県庁舎(移転建て替え)



(2)岡山市庁舎(現地建て替え)



(3)宮崎県庁舎(新棟建設) (歴史的建物の利活用)



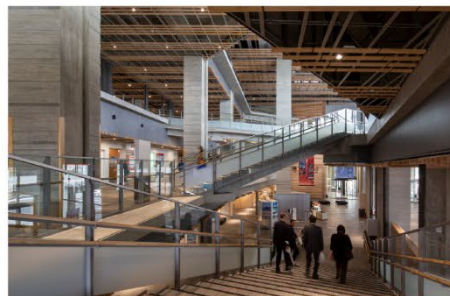
(4)広島県庁舎(全面リニューアル)



(3)-1 長崎県庁舎(移転建て替え) 2017年竣工

長崎駅周辺の「まちづくり」を先導する「開かれた庁舎」の実現

建築概要	床面積	構造	階数
行政棟議会棟	53,416㎡	RC,一部W造 (免震構造)	8階
警察本部庁舎	21,850㎡	RC,一部S造 (免震構造)	8階
駐車場棟	約200台(内身障者用駐車場7台)		



玄関ホール:
屋外オープンスペースと繋がる開放的空間



執務室:
自由度が高いオープンフロアとセキュリティ確保



配置図



全景:防災拠点となる新庁舎と防災広場を整備

自治体の顔、まちづくりの拠点として庁舎・広場・利便施設・駐車場・公園を一体的に整備

建築概要	床面積	構造	階数
新庁舎	56,318m ²	S造, 一部SRC,S造 (免震+制振)	17階 B2階

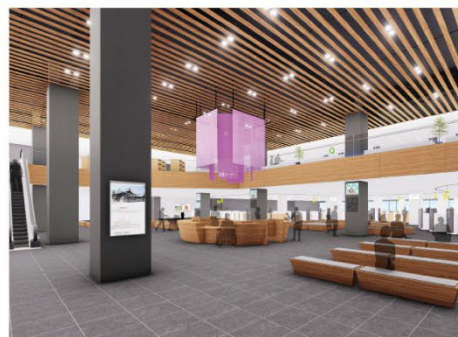


- 庁舎敷地と公園・駐車場敷地を入れ替えて建て替え
- 公園と庁舎敷地間の道路は、**廃道**

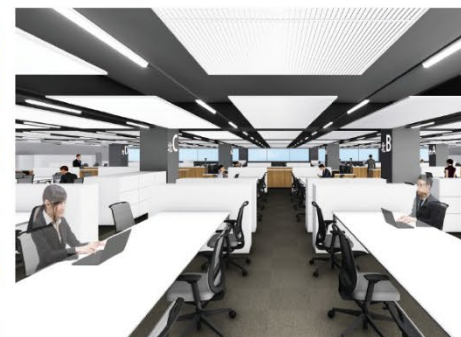
配置図
(現況)



配置図(計画)



2階待合ひろば
開放的な木質空間



執務室
自由度が高いオープンフロア



全景:広場・利便施設・駐車場、公園を一体的に整備

(3)-3 宮崎県庁舎(新棟建設、歴史的建物の活用) 2020年新棟竣工

南海トラフ巨大地震に備えて「県民の生命と財産を守る司令塔となる防災庁舎」を整備

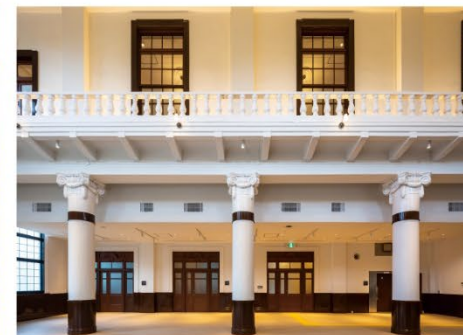
建築概要	床面積	構造	階数
防災庁舎	24,406㎡	S,一部RC造 (免震構造)	10階 B1階
5号館	749㎡	RC造	2階



配置図



防災庁舎危機管理機能と災害時に重要な役割を担う県土整備部と福祉保健部を一体整備



5号館1階多目的スペース:
2階の展示ホールとともに県民利用を想定

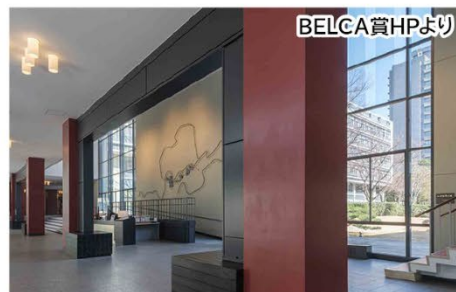


全景:県庁舎施設が12棟に分散しているため、災害時の連携を図る新棟を建設

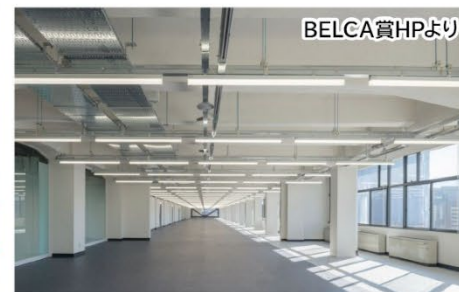
(3)-4 広島県庁舎(全面リニューアル) 2022年リニューアル竣工

県庁舎敷地のあり方は、まちづくりの中で議論の途上にあるため、リニューアルを選択

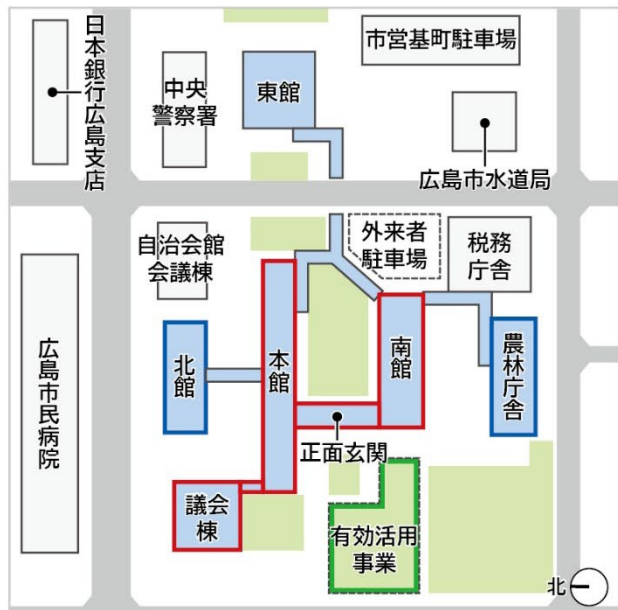
建築概要	床面積	構造	階数
本館	19,208㎡	RC造	6階/B1階
南館	7,095㎡	RC造	4階/B1階
議会堂	5,389㎡	RC造	3階/B1階
北館	11,162㎡	SRC造	6階/B1階
農林庁舎	6,329㎡	RC造	6階/B1階
東館	30,629㎡	SRC造	20階/B2階



玄関ホール：
朱塗りの柱、中庭に開けた空間を継承



執務室：
オープンフロア化



配置図(県HPより) ■ 耐震補強 ■ 液状化対策地盤改良



全景長く都心の景観形成上重要な役割を果たしてきた外観を変えずにモダンデザインを継承